

平成29年8月5日(土)実施



宇部市新庁舎建設 ワークショップニュース 第3号



発行：都市整備部まちなか再生推進課本庁舎建設係
〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 電話0836-34-8200／ファックス0836-22-6050

8月5日(土)の午後、ときわ湖水ホールにて、第11回「宇部市新庁舎建設ワークショップ」を開催しました。33名の市民が6つのグループに分かれて、これまでの意見を基に考えたワークショップ検討案について意見を出し合いました。

最初に前回のおさらいをした後、これまでの意見を活かして作成した市民活動支援機能のワークショップ検討案について、設計者から説明しました(p2)。その提案を聞き、グループで話し合いながら修正点や提案をポストイットに書き出して、全体場で確認しました(p3～5)。次にまちづくり拠点機能について設計者から説明しました(p6)。そして、それに対する修正点や提案をグループで話し合っってポストイットに書き出し、全体場で確認しました(p7～8)。最後に、本日の感想をカードに記入していただいて(p9～10)、第11回のワークショップを終了しました。

今回は、ワークショップ検討案が提示されたことを受けて、参加者からより具体的な様々な意見を頂くことができました。憩いの広場、イベント広場、エントランス、駐車場等の意見を受け、次回はワークショップ修正案を提示する予定です。今回の検討プロセスを通して、多くの意見を反映した素晴らしい基本設計案が完成するよう最後のワークショップにもたくさんの方にご参加いただき、さらに多くの意見を願っています。

ワークショップの流れ

- 第9回
日時：平成29年5月20日(土)14:00～
場所：ハミングロード新天町アーケード内
- 第10回
日時：平成29年7月15日(土)13:30～
場所：宇部市総合福祉会館
- 第11回
日時：平成29年8月5日(土)13:30～
場所：ときわ湖水ホール
- 第12回
日時：平成29年9月23日(土)13:30～
場所：宇部市立図書館

第11回プログラム

1. はじめに
2. 宇部らしい市民活動支援機能について、設計者から検討案を提案
3. 検討案に対する質問や提案をグループで検討し、全体で確認
4. 広場などまちづくり拠点機能について、設計者から検討案を提案
5. 検討案に対する質問や提案をグループで検討し、全体で確認
6. まとめ

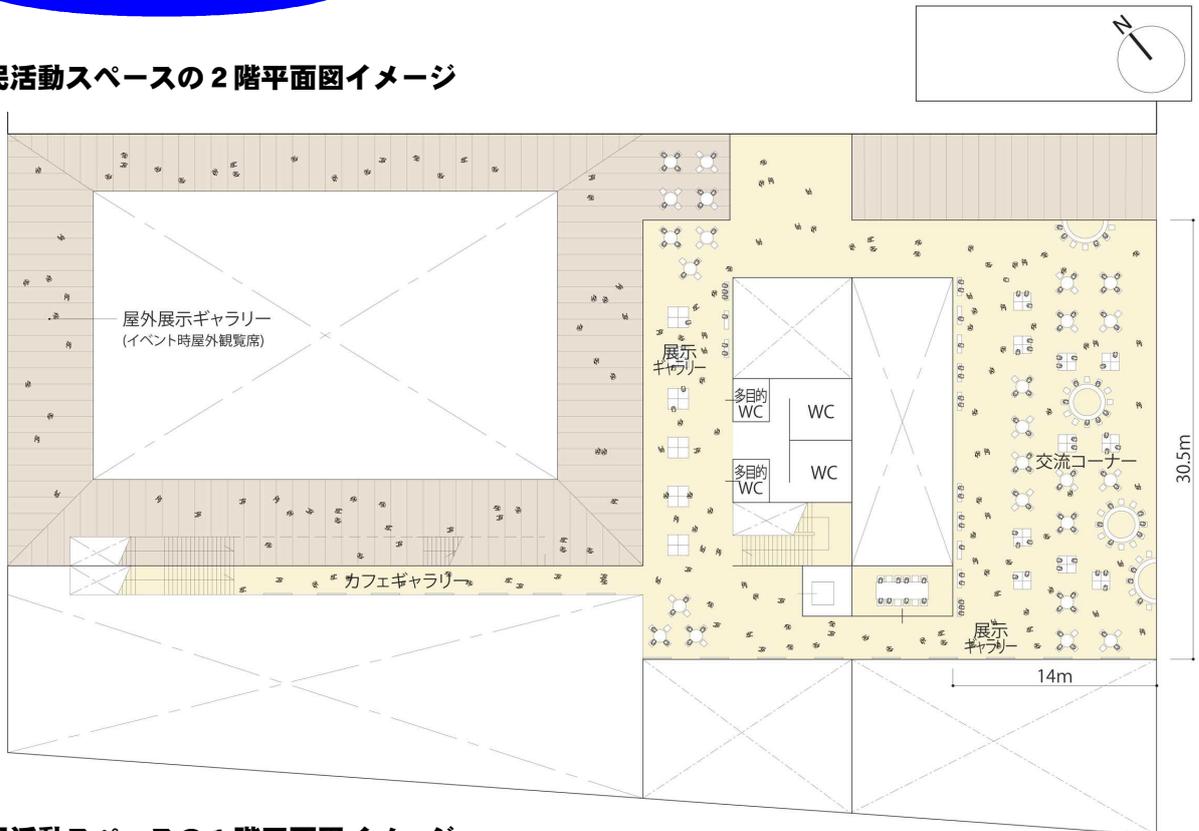


宇部らしい市民活動支援機能について 設計者から提案

これまでの結果を活かしながら作成したワークショップ検討案を設計者から説明しました。

ワークショップ検討案

市民活動スペースの2階平面図イメージ



市民活動スペースの1階平面図イメージ



※話し合いのたたき台として設計者から提案されたもので、これが基本設計となるものではありません。

● 前回までの意見から

- 市民活動支援機能それぞれが連携し、複数の機能を兼ね備えた場所をつくるという意見が多く出された。

< 8つの機能 >

- ①展示ギャラリー ②図書コーナー
- ③特産物紹介 ④観光案内情報
- ⑤多目的スペース ⑥飲食・休憩スペース
- ⑦その他（シティセールス促進など）
- ⑧市民活動交流コーナー

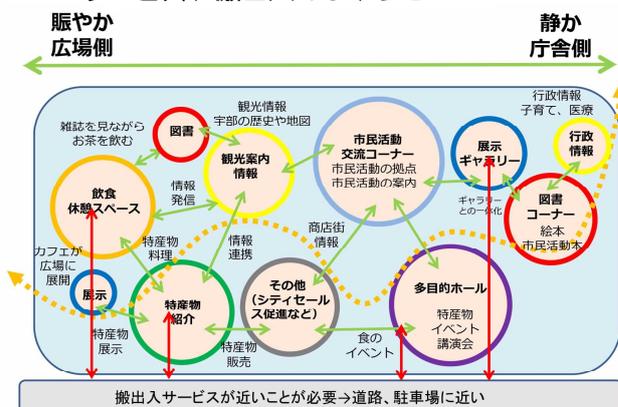
- ワンルームラウンジ型にし、コーナーを点在させれば相互連携しやすいような場所になるのではないかと。

● 多目的ホール

- 機能的で使いやすいホール
 1. ホールとして基本的な音響性能を確保
→響き、遮音
 2. 展示からイベントまで使える設え
→照明・音響、仕上
 3. 通りから搬出入が可能
 4. 常盤通りから活動が見える
 5. 市庁舎としての機能活用ができる

● コーナーの並べ方

1. 静かな場所から賑やかな場所へ
2. 連携しやすいコーナーのつながり
3. サービス、搬出入のしやすさ



● カフェ・飲食スペース

- 軽食、カフェの要望が非常に高く、フレキシブルに利用できるオープンカフェ的なものが望まれている。
- 広場や公園との内外の連携、中間期の気持ちの良い季節には外に出られるようなオープンカフェ形式を提案したい。

グループで話し合って出されたポイント

全体的なイメージ

- 市役所に行けば宇部市のことが全てわかる所にして欲しい。
- 誰もがちょっと市役所に寄ってみたいと思う場所に。
- 話題になる市庁舎を目指す。
- 市役所を中心とした新しい街づくりが必要。常に人が集まる場所。生鮮食品市場（豊田町蛸街道西ノ市を参照して下さい）。
- いつも人でいっぱいでない位が気軽に立ち寄れる場所になる。
- 道路から目に見えて人が集まっていることが確認できる空間をつくれれば良い。公園の延長線上。
- グローバル
- オシャレなフロアにする。マテリアルもしっかり考える。
- ANAクラウンホテルに似ている。これをイメージしたら良いのか？

ソフト面、運営について

- フロアをプロモーションする人間をつけるべき！
- ソフトと一緒に考える。どこが運営するのか。
- ソフト面をしっかりとしないと人が来ない。
- インデッドで目的がないと行かないのでは。
- 常にイベント等を運営しなければ、誰も来ない場所になるのでは？

交流コーナーについて

- 可動式のパーティションで部屋を作れるようにしてほしい。
- 可動間仕切りをつける。そういう場があった方がよい。
- 2階交流コーナーはフレキシブルに使えるように。パーティションで仕切れるとよい。
- 交流コーナーも多目的ホールにしても良いのでは。
- 機材、道具をどこに納める？毎回、外から持ってくる？

イベント広場について

- 展示ギャラリースペースとイベント広場を入れ替える（イベント広場が広すぎでは？）
- 道路側からイベント広場が見えない。
- 宇部まつりのためにイベント広場はこの位置にしない方が良い。
- イベント広場の場所、配置を考えた方が良い。
- イベント広場が大きすぎるのでは。駐車場は足りるか？
- イベント用品の倉庫が必要。
- イベント規模を千人くらいで考えて欲しい。
- イベント広場はアーティスト（歌手）などがくる規模が欲しい。
- ステージは現在のように仮設で良い。
- イベント広場も芝生にすると子どもが走り回れる。
- イベント広場を区切れるようにする。色々な団体が同時に使える。
- イベント広場を物販にしたら？道の駅のようなもの。
- 屋根はいらない。いつも使わない！
- 屋根を付けるのはコストがかかる。
- 屋根付き広場は費用対効果を考えるともったいない。
- 恵比寿のガーデンスクエアの様なしっかりした屋根（クリア）
- 屋根に太陽光パネル（透過性）をつけたらどうか？
- 壁がない。屋根があれば良い。全体を覆う。
- 音楽会などもやりたいので屋根は必要。

部屋のつくり方

- 空間が自由すぎる。今のは使いづらいのでは？利用してくれるか？
- 部屋よりもオープンな空間の方が良い。
- 部屋は仕切らない方が良い。
- 高校のサテライトとして使用できたら良い。実験などでもできるもの（ガス、水道）。
- 市民活動各種クラス等の部屋。楽器の練習、防音も。
- 身障者を体験できるコーナーを作ってほしい。
- 遊びの空間をつくった方がよいのでは。
- 高齢者に対応できるコーナーがほしい。たまり場。
- イクメンのスペースが欲しい。



動線、駐車場・駐輪場

- イベント広場への車の動線はどのように考えているのか？
- 北側の駐車場から市民活動スペースに来させる仕掛けが必要。
- 駐車場からの動線が弱い。
- 歩行者のほとんどが立体駐車場から。よほど良いものがないと活動スペースまで来ない。
- 駐車場を分散させた方が良いのでは？
- 休日も使える駐車場。
- 市役所の窓口次第？駐車場とカフェの遠さ。
- イベント広場でイベントがない通常時は無料駐車場に（夜は閉鎖する）。
- 駐輪場もいるのでは。

エントランス周り

- 玄関を広くした方が良い。
- メインエントランスの設え。初めてくる人が分かりづらい。
- メインエントランスが分かりづらいと思う。
- 市民のメインエントランスは駐車場側では。
- 現在の玄関口の位置が良い。
- 市役所が休みの日の出入りは？
- バス停は側道。側道はバス、タクシー専用道路。
- バス停から市役所まで、屋根が架かっているといい。キャンपी。
- 常盤通りバス停からのアクセス。歩きづらい。見通せない。
- バス停から雨に濡れずに庁舎に入ると良い。
- 国道190号から玄関を見やすくした方が良い。
- ファサードのライン。今はそんなに遠くない。バス停からのアクセス時。

多目的ホールについて

- 多目的ホールの大きさが中途半端ではないか。
- 多目的ホール→医大の先生に講演。
- 多目的ホールでビエンナーレの模型展をやってほしい。
- 2階が可動式の会議室になれば多目的ホールはいらないのでは？
- 多目的ホールがあるならヒストリアは不要。

展示ギャラリーについて

- 宇部の石炭の歴史を展示してほしい。
- 展示ギャラリーが多い。必要？
- 安全な彫刻も置いて（子どもが遊んでも安全な）。
- 「瀬戸内国際芸術祭」まではいかないけど…。

カフェについて

- カフェは持ち込み？調理場が無い。
- エヴァンゲリオンカフェを作ったら。
- カフェはドリンクバーや自販機などを設置。
- 話題性。例) スタバじゃないもの。どこに行ってもスタバ。
- ランチの美味しい店があると人が来るかも。
- カフェコーナーを分散した方が良い。2階にも！
- カフェはいらない！よく潰れる。

市民協働スペースについて

- 市民協働センターはもう少し広い方が良い。
- 市民協働センターが小さすぎる。
- 市民協働センターは他のスペースが混在して、スペースが不十分と思う。
- 市民協働センターはうべネットワークに代替させるならスペースが狭いのでは？
- 市民協働スペース(低層棟)を高層棟にくっつける。

物産物コーナー、観光案内情報コーナー、行政情報コーナー

- 物販コーナーを大きく広げる。
- 特産品のコーナーが小さすぎる。
- 特産物コーナー→アンテナショップを設置したら？
- 地産地消
- 観光案内コーナーはメインエントランス付近にもほしい。
- 空港との観光の差別化
- 市民活動スペースを観光コーナーにしぼる等、特色を持たせたら。
- 観光客が市役所に来ますか？
- 行政情報コーナーは本庁舎にある方が良いのでは？

その他

- 女性のエネルギーが感じられない。
- 女性の活動の場。
- もう一つ、佐藤さんの案を出して欲しい。
- 1階に災害時に取り出し可能な物資貯蓄拠点が在ることを信じてます。高層など。
- 2階のウッドデッキから執務室が見えるのでは？



設計者からのコメント

- ◆ソフトがしっかりしないと人が来ない：とても重要な指摘である。具体的に議論しながら場所づくりをしないといけないと感じている。
- ◆駐車場の考え方：230台の立体駐車場を考えているが、常盤通りの整備とも絡め検討したい。イベント時の臨時駐車場を敷地内にとるのか他と連携させるのか、それらもまとめる必要がある。
- ◆エントランスについて：常盤通りがメインストリートなので、そこに正面、庁舎の顔をつくらないといけないと思う。またバス停から屋根を架けるなど、アクセスをきちんと考える必要がある。
- ◆多目的ホールについて：宇部市内にある同規模のホールを分析し用途を検討した上で進めたい。
- ◆カフェについて：カフェは実際に運営してくれる人がいないとできないので、ソフトも一緒に考えていきたい。



▲ 1グループ



▲ 2グループ



▲ 3グループ



▲ 4グループ



▲ 5グループ

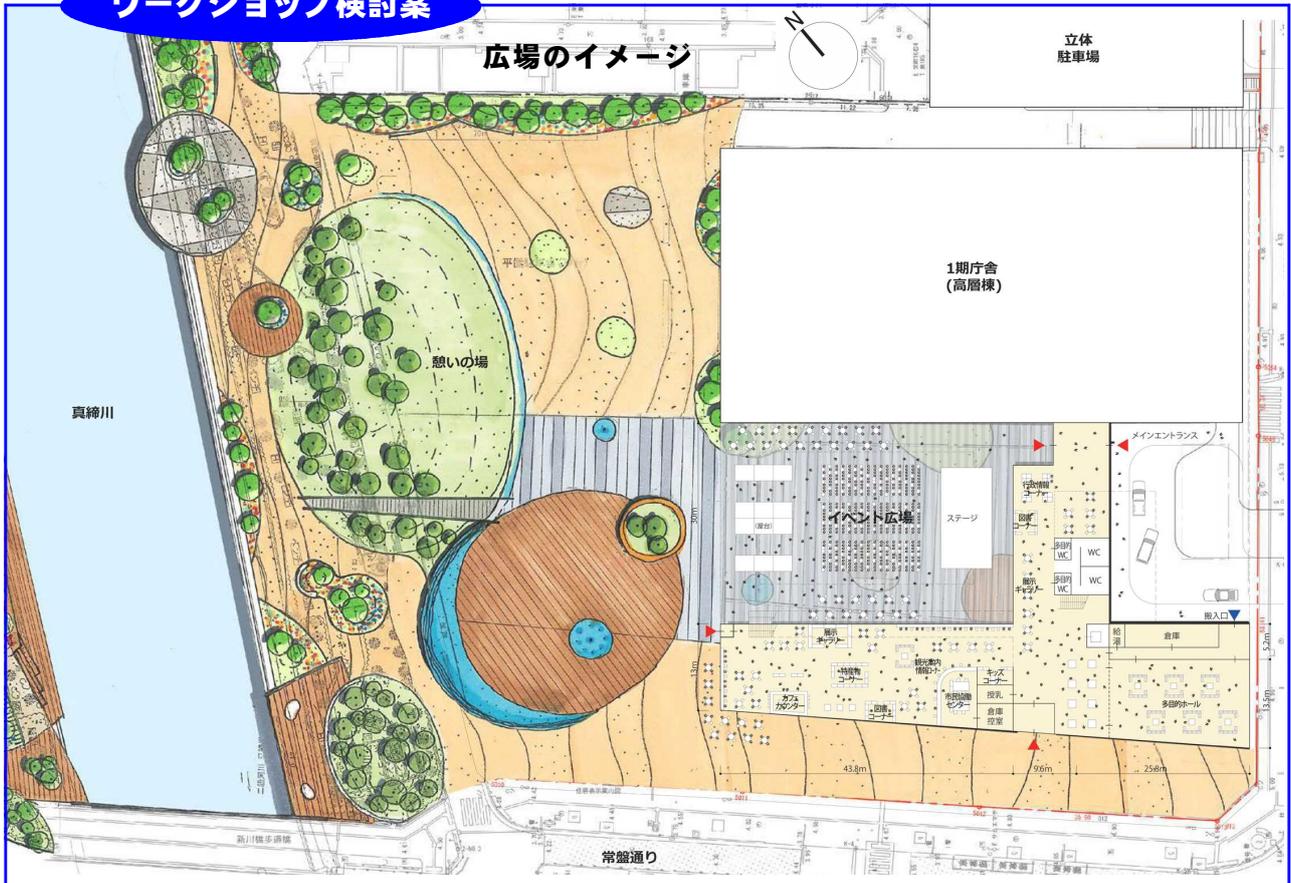


▲ 6グループ

宇部らしいまちづくり拠点機能について 設計者から提案

これまでの結果を活かしながら作成したワークショップ検討案を設計者から説明しました。

ワークショップ検討案



※話し合いのたたき台として設計者から提案されたもので、これが基本設計となるものではありません。

● 『Art Garden Plaza』

緑 [まちの庭的空間]
水 [親水空間]
彫刻 [アート空間]

+

広場

『Art Garden Plaza』

- 基本的には真綿川からの緑、水、彫刻の三要素に広場を掛け合わせたものを広場の考え方の骨格としている。

● 周辺との関係

- 真綿川の両側には緑地があり自然が続いている。それに対して常盤通りが文化の軸、賑わいの軸になっている。市役所は自然の軸と文化の軸の交点、結節点に位置する。
- 賑わい、憩い、祭りの大きく分けて3つのゾーニングで考えている。

● 広場のイメージ

- 真綿川に沿って木のデッキを設け、植栽を密に設けて憩いの場を演出する。そこから庁舎に近づくにつれてだんだん緑が開け、イベント広場につながる。
- イベント広場の大きさは30m×50m程度。人の顔が認識できる限界が30mなので、それを踏まえてこの大きさにしている。
- 人が集まりやすくなるよう、ウッドデッキなどを設けて領域をつくっている。
- 芝生部分が少し盛り上がっているが、基本的には床はフラットにしてまつりがしやすいようにしている。
- 池は深いものではなく水面は床と同じレベルで、そこに噴水があるようなイメージ。
- イベント広場を庁舎に隣接させ、トイレや控え室を利用しやすい関係にしている。
- イベント広場の賑わい方によっては、広場を駐車場に使うことを考えていく必要があるので、仕上げ等については検討したい。

グループで話し合っ出されたポストイット

真締川とのつながり

- 市道がなくなると管理区域が明確にならない。道路を残すべき。
- 真締川と一体化する案（道をなくすこと）はいいことだと思う。
- 階段状にして水に親しめるようにしてほしい。
- 水辺に降りられる仕組みがほしい（親水）。
- 現在うっそうとしている。凶面くらいの密度が良い。
- 真締川の両岸の親水公園化は賛成。
- 現状の真締川公園で十分。
- 人が夜に歩きやすい感じ。例）足下のライトアップとか。
- 真締川に遊覧船のハーバーをつくる。
- 秋はハゼ釣り大会もいいかも。
- 釣りスポットがあると良いです。
- 真締川とのつながりを考えると、憩いの場は必要。

植栽について

- 桜の木はそのままに!!
- 既存の桜を使う。例年、川沿いの花見がきれいだから。
- 桜の木はそのまま、シートが広げられるような公園があると嬉しいです。
- 桜はそのままがいい。
- 木が多すぎる。
- 木かげにベンチを設置してほしい。
- 日よけを作ってほしい。

彫刻の活用について

- 産業祈念像があるが、それは移動させてはいけない。
- 広場は産業祈念像を中心に考えたらどうか？
- 産業祈念像の位置はどうなる？
- 一体化される前の真締川公園にある史跡類は保存して欲しい（石碑など）。
- ビエンナーレの彫刻を設置する。
- 彫刻も置く（ビエンナーレで賞を獲ったもの）。印象的なもの。
- 彫刻を置いて「まちなか美術館」のイメージ。
- 真締川沿いに彫刻を配置。
- テーマを持った彫刻の配置（パブリックアート）。
- 彫刻の活かし方が難しい。
- ビエンナーレ、アートフェスタのサテライト会場としての利用。

親水コーナーについて

- 親水、じゃぶじゃぶ池はイベント広場を分断させる。
- ウッドデッキや池は凶面のサイズは大きすぎる。常盤公園にあるので、市役所には不要では？
- じゃぶじゃぶ池があると良い。
- 噴水。浅く子どもが遊べるモノ。家族連れも集まりやすい。ライトアップもすると良い。

芝生の小山について

- 芝生の小山をイベントスペースの正面にして、バルコニー席の機能のように使ってはどうか？
- ちょっとした丘。イベント広場や川を見渡せるので良い。
- 段ボールで滑れるくらいの傾斜。

イベント広場について

- 憩いの場の位置にイベント広場がよい。
- イベント広場は中庭（憩いの広場）にしたい。
- イベント広場西側のスペースもまつりで一体利用したい。
- 中庭にシンボルとなる様な彫刻を置くとよい。

平地の駐車場(臨時)について

- 水広場をなくして無料の平地の芝生駐車場。
- 無料の平地の駐車場がほしい。
- 美観を損ねない駐車場がほしい。
- 市役所だからこそ、街のために無料の駐車場を考えてほしい！
- 平地の駐車場がほしい。
- 憩いの場は駐車場がいい（無料）。
- 臨時駐車場の仕様は？砂利敷き、芝生、アスファルト舗装？
- イベントの時に限って臨時駐車場の入口と出口を分けるとよい。
- 駐車場（臨時）の出入口を出口、入口で分ける等、出入りしやすいように工夫があるといい。
- 市役所は観光する所ではないので集客する必要がない。駐車スペースを広げるべきではないか。
- 駐車場をつくってはダメ。



憩いの場について

- 公園、広場は真夏利用しない。需要がない。
- 憩いの広場は不要ではないか。既存の公園を活かすべきではないか。
- 全日本クラスの広場（公園）を作る。
- 軽トラ市ができるスペースがいい。
- 広場を作ることはいいが人がいない。人が来る仕掛けが必要ではないか。
- イベントのじゃまにならないように広場を作る。
- 夜は屋台村にできるように（宇部まつりのワールドキッチンもできる）。
- ワールドキッチンのためには電気、ガス、水道設備が必要。下水（排水設備）も。
- ワールドキッチンは常盤通り沿いの方が良いのでは？
- ワールドキッチンは憩いの場より手前のスペースに。
- 近隣住民の方への騒音が心配(ワールドキッチン)。
- 広場を24時間遊園地にする。ジェットコースター。真縮川も使う。
- 子どもが遊べる場が良いのでは。
- 憩いの場は全て平地が良い。
- スケボーができる施設がほしい。
- 広場で障がい者体験をできる施設を作ってほしい（全日本クラス）。
- 日本一、障がい者に優しい広場にすべき。
- 自転車は広場の中を通れるようにしてほしい。
- 広場を全面芝生にすると維持管理が大変。駐車場としても使えない。
- 人工芝。ほこりもたたない、イベントに使いやすい、スポーツができる。
- 舗装は温度が上がらないようにしてほしい。
- 外のトイレが足りなくなるかもしれません。
- 夏はミストの森もいいかも。
- ミストシャワーを設置したらどうか？

常盤通り側の整備について

- 190号の側道はなくして、歩道と一体にしてほしい。
- 常盤通りと一体的に整備する。
- 常盤通り沿いの歩道をオシャレに演出（彫刻、噴水、雨に濡れない）。
- バス停の正面に入口を！
- 常盤通りに彫刻を連続的に設置し、彫刻通りにする。

屋上の活用について

- 屋上緑化してビアガーデンとか。緑化すれば夏も暑くならない。
- 屋上で花火大会が見えるようにしたらどうか。
- 屋上の利用方法は？花火大会見物。

配置について

- 市民スペースは広場と対面する方がよい。
- 宇部まつりのパレードとイベント広場との連携がしにくい。
- 市民活動スペースの屋上緑化された場合、憩いの場と一連性を持たせられないか？（スロープ等）
- 普段使われない広場が前面に出るよりは、今の案のように中に広場があった方が良い。
- イベント広場の南側活動スペースを1期棟西側へ。
- 2期棟を通してイベント広場へ行きやすいようにしてほしい。
- 2期棟部分はメインエントランス部分にし、国道からイベント広場が見えるように。
- 低層棟を高層棟の東側に配置し、常盤通り側に駐車場。
- 常盤通りと庁舎の間のスペースに少し駐車場があってもよい。市民活動スペースへのアクセス。

その他

- ヒストリアを彫刻学校に転用。多目的ホールに意義を持たせる。
- 監視カメラの設置。
- エリアを決めてスポンサーに整備をしてもらう。
- 魚市、野菜市、フリーマーケット。安くていいもの市。
- 庁舎の建設は宇部方式でやっていく！（市民が団結して）
- ランニングコストがかからないように。
- チームラボもいいかも。
- 花壇はあった方が良い。ただし管理者をしっかり決めないとダメ。
- 地方都市の広場の在り方を考える。都会だとイベントが頻繁。日常使いが重要！
- 毎日、毎週などの行事を催す。
- 宇部まつりだけでなく、毎日イベント広場や多目的広場を使う。使える市役所になりますように！





設計者からのコメント

- ◆真締川に降りられる設備：河川管理者と協議した結果、護岸整備の事業予定はないとのことだった為、川が見られるデッキを提案した。
- ◆市道の整備：廃道の方向で検討を進めている。
- ◆憩いの場、イベント広場の使い方：年1回の宇部まつり以外はどうするか。祭りと憩い、2つの機能を満たすよう仕上げも含めて練らないといけない。また執務部門に影響が出ないように考慮したい。
- ◆彫刻について：専門家の意見を聞きながらうまく取り入れたい。産業祈念像も十分協議して進めたい。
- ◆ミストシャワーの設置：夏の昼間は非常に暑いので、ミストシャワーなどの設備も考えて行きたい。
- ◆監視カメラの設置：カメラだけでなく、できるだけ見通しの良い開かれた場にする事は犯罪の抑止にもつながると思うので、安全に配慮したものとしたい。
- ◆毎日イベント広場等を使うことについて：毎日、何かしらの行事を行っているというのはまちが元気な証拠。そのためにこの庁舎がどうあるべきか、今後、議論を重ねていきたい。

感想カード

最後に、今日参加した感想や今後の進め方など、自由に感想カードにお書きいただきました。



いろいろな意見が聞けて良かった

- たくさんの意見を聞く事が出来て良かった。模型等も有り、イメージしやすかった。
- 設計提案を見て、より具体的な意見が出た。設置したものの、有効に使う提案が難しい。
- ワークショップも11回目を迎えると、いろんな立場から意見が出せて良かったと思っています！最終に向けて、ますますの意見が出ることを願っています。
- いろいろな意見が出ることはとても重要と思います。ハードの話がまとまって来たら、ソフトや運営面が大きな課題になると感じました。宇部らしい運営、これは我々皆の課題と思います。
- 様々な意見が出て、徒歩、バス、車など、普段の自分の生活スタイルから自らの立場で意見することで、他人のイメージと自分ではイメージが異なっていて、それが合わさることで面白いアイデア、意見が出て楽しかったです。
- ワークショップに参加するのは2回目ですが、前回参加させていただいたときより具体的になってきていると感じました。市民の方々が使用する場所であるため、市民の意見を第一としていると思います。イベント広場や屋外のスペースなど、ソフト面とハード面の兼ね合いが重要で、もっとその部分が進んでいくといいと思います。



話し合いの進め方について

- 今日のワークショップは、前回よりも具体化できてよかったと思います。ただまだまだいろいろな意見があり、果たしてまとまるのかなという思いもあります。またハード面、ソフト面の意見も入り交じっているのので、次回はハード面のみで協議していった方がいいと思いました。
- ハード面とソフト面を同時に組み込んで考えるべきでは。イベント広場、各種コーナーは行政も入り込んだ方がよいと思う。民間（食品、ボランティア団体、トラベル業者等）常駐も考えるべき。
- 日本一の市庁舎を目指してがんばりましょう！色々な意見が出されておもしろかったです。設計者とのコミュニケーションの機会をもっと増やしても良いのではと感じました。予算もあるでしょうが、イベント広場というか、ホールにできないのでしょうか？若者があつまる庁舎と街づくりを...
- 今日は各校区で夏まつりが多いのではないのでしょうか！各校区で力のある方々がこの場に来ることができにくく、又、来たからには一生懸命考えます。市役所に行ったら市民活動スペースにも行きたくなるような、たくさんの人々が「市役所行こうよ！」くらい市民たくさんの方が使える市役所を作って下さい。あと2回、う～ん!!ベビーカーで子ども達が入っても大丈夫な空間がほしいです。市役所行ったら市民活動スペースにも行きたくなるようなきれいな空間、作って下さい。役所の人の自己満足だけの時間の使い方と思います。ちょっと残念な気持ちで参加しています。ここまでできたら今までのグループワークではなくもっと頭を寄せて、他班と交流したり話し合うやり方が、もっと意見が出やすいのではないですか。どうして今日だったのででしょうか。暑くてこの湖水ホール利用では議論しにくくないですか？

♡ 宇部らしい市役所に

- 宇部の現状（車社会）を理解した計画としてほしい。歩道を歩いている人はほとんどいません。すぐ魅力のある施設にしないと、駐車場から市役所の用事を済ませて帰るだけになってしまう。都会と地方都市は根本的に違うことを考慮してほしい。
- 宇部市の現状をもう一度よく考えて計画してほしいと思う。中心市街地に無料の駐車場（利用しやすい平地式）が不足していると言われていの中で、本当に広大な広場が必要なのか？市民の平日の動き、人の移動経路等をよく考えて、市役所のあるべき形を考えて下さい。宇部は地方で車社会、全てが自家用車での生活という現実をよく考えて。
- 駐車場の仕様が懸念材料（従来より不便で、収容台数が少なくは後々まで市民の不満の種になる）。公園一体化に伴い、市道を廃道処理しても従来通り自転車の通行は保証してほしい（真綿川東通線など）。一期庁舎の議論がないが、従来よりも不便なものにならないようお願いしたい。
- 多くの人の英知とすばらしい案で、市民が誇れる様な市役所にしたいですネ。又、自分勝手な言葉を発し、他のグループの方に大変迷惑をかけていないか心配しています。
- いろいろな意見が聞いて良かったです。宇部市民にとって利用しやすい市庁舎を建設して下さい。100年利用できるの良いですね。
- すべての意見が通るわけではないのは分かりますが、市民が使い易い市役所を造って下さい。中心市街地に人を集めるために土地の中にカフェなどの設置をすることも良いと思います。動線だけ確保して、勝手が良いものにして下さい。お疲れ様でした。
- 市役所を中心とした街造り、宇部の商店街は死んでいます。イベント広場を物販（生鮮食品、特産物、道の駅の小型版）に常に人が集まれば、その周辺は栄えます。市役所も個性的な建物で、宇部の名物になる様な建物、環境を作ってほしい。インバウンドに効果が出る様にカフェも大切です。駐車場は500台以上。日常的な買い物、楽しさ、おしゃれなカフェ、レストラン。人の集まるものは1階に、2階は静かなコーナー。レイアウトは考え直してほしい。イベント広場は国道沿いに。本庁舎の屋上の利用方法。テナント、ビアガーデン。



♡ 提案・要望

- 皆さんのいろいろな意見を聞き、気付かないこともあり、なるほどと思うことも沢山ありました。イベント広場等はイベントがある時、ない時を考えての整備、特に宇部まつりを視野に入れた整備も必要と思いました。真綿川沿いは今有る「木かげ」も利用、残して、ウォーキング等にも利用できるようになるといいと思いました。
- イベント広場の位置について再検討。建物から離れた場所の方が良いのでは？
- 今日の会場は集合時間に丁度良いバスがないのでタクシーで行きました。不便です。多目的ホールは音響効果の良いものをお願いします。少人数の合唱グループでも上手に聴こえる様に。
- 初めて参加しました。建物について、メインエントランスの設えは気になりました。常盤通りのバス停からエントランス→市役所までバーンと見通せる一本の軸を通すくらいの方が明快でよいかもしれません（笑）。自由なレイアウトについてはかためるとこはかためて、フリーなところはフリーに使える方が…。ひろばの考え方は難しすぎますね！
- 色々意見は出しました。外回りの検討をもっとしてはと思います。20万市民という事と、将来の人口増？を考えて、増築のできる庁舎にしてほしい。産業祈念像は宇部市のルーツですので、それも合わせて検討をしていただきたいと思います。感想というより希望を書いて申し訳ないです。
- バス停からすぐに行けるように、メインエントランスは常盤通り沿いにしたい。屋根もつけて欲しい。それからまっすぐ市役所に行けるようにしたい。広場に遊具は？イベント広場が出来るのなら屋根と冷暖房が必要。
- 3回目、ありがとうございました。宇部市役所を中心に周辺の商業、産業の発展、活性化につながると良いと思います。平常時はともかく、イベント等、混雑時の人や車の動線、トイレの確保も周辺一体の環境も含めて考えていけたらいいなと思います。若者、高校性、大学生の活用が見込めるといいと思います。
- イベント広場の稼働次第で、交流スペース等（市庁舎以外）が生きると思われる。
- 真綿川感潮部へ階段をつけることは何故無理なのか、理解できない。若者、現役、元気なシニアが集えるようなソフトな仕組みが大事。世界にも通用する、例えば彫刻などをうまく利用すること。「宇部方式」の復活には、世代を通した利他精神を引き出す努力が必要。市職員、シニアetc.の奮起を期待する。
- 純粋な設計者の計画を見てみたいです。プランに別の拘束を受けているようで、あまり良いプランに見えないです。